

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 遠藤 秀治

第 290 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 26 年 10 月 4 日（土）午後 3 時 00 分から
場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室
岐阜市長良福光 2695 - 2 電話(058) 296 - 1200

総合司会 岐阜県総合医療センター 薬剤部 関谷 猛

1、会長挨拶

2、会員発表

- 1) 病院紹介 岐阜県立下呂温泉病院
下呂温泉病院 薬剤部 井ノ上 光良 先生
- 2) 血液透析患者の腎性貧血に対する C. E. R. A. の有用性について
-rHuEPO からの切替え投与が病院経営に及ぼす影響をふまえて-
早徳病院 薬局 古田 和也 先生
- 3) 頭頸部癌 CF 療法におけるアプレピタント 5 日間投与の有効性と
その費用対効果解析
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 鈴木 昭夫 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

* 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

大切なお知らせ：当日は、長良川国際会議場地下駐車場が大変混雑いたします。
公共交通機関でお越しいただくか、別紙を参考にしてください。

血液透析患者の腎性貧血に対する C. E. R. A. の有用性について
～rHuEPO からの切換え投与が病院経営に及ぼす影響をふまえて～

早徳病院薬局

○古田和也, 西岡恵子, 河合永晴

【はじめに】2006 年の診療報酬改定から、エリスロポエチン(EPO)製剤の薬剤費が人工腎臓技術料に包括となった。この包括化の影響により、医療機関では効率的（より低コストで、腎性貧血管理が可能）な貧血療法が模索されている。

【目的】新規 EPO 製剤であるエポエチン ベータ ペゴル(C. E. R. A.)は、持続型赤血球造血刺激因子製剤である。本研究は、エポエチン ベータ (rHuEPO) から C. E. R. A. へ投与変更した血液透析患者を対象に、C. E. R. A. の腎性貧血に対する費用対効果とともに、投与変更に伴う薬剤費の変動が病院経営に及ぼす影響を検討した。

【方法】1. C. E. R. A. の費用対効果について

対象は、2011 年 9 月に rHuEPO から C. E. R. A. へ投与変更した 53 症例とした。症例は、rHuEPO 投与により血清 Hb 値が 10g/dL 以上に維持されていた 21 症例を Hb 良好群と、10g/dL 未満であった 32 症例を Hb 不良群とに分け、投与変更前 6 ヶ月間と変更後 6 ヶ月間にわたり、血清 Hb 値や薬剤費（薬価にて算出）を調査した。

2. C. E. R. A. の病院経営に及ぼす影響について

対象は、2011 年 9 月の時点で EPO 製剤の投与を受けたすべての患者 132 症例とした。病院経営に及ぼす影響の指標として、薬剤費比率(%) (=全薬剤購入費/医療収入×100)と全薬剤購入費に対する EPO 製剤購入費の割合について調査した。なお、薬剤購入費は、納入価にて算出した。

【結果】投与変更後も平均血清ヘモグロビン値は、9.8g/dL から 10.0g/dL と維持され、1 ヶ月当りの平均薬剤費(薬価ベース)にも差を認めなかったことより、C. E. R. A. の費用対効果は、rHuEPO と比較して同等であった。

一方、病院経営の指標である薬剤費比率（納入価ベース）は投与変更後に、12.1%/月から 14.2%/月へ有意に増加した。

【考察】透析医療における EPO 製剤の有用性を検討する場合、費用対効果とともに病院経営も考慮に入れた評価が必要である。

頭頸部癌 CF 療法におけるアプレピタント 5 日間投与の有効性とその費用対効果解析

○鈴木昭夫、小林 亮、岡安伸二、伊藤善規

岐阜大学医学部附属病院薬剤部

【目的】頭頸部癌における標準化学療法としては、シスプラチン（CDDP）と5-フルオロウラシル（5-FU）を組み合わせたCF療法が用いられる。本レジメンは、高度催吐性リスクに分類されるため、5-HT3拮抗薬、デキサメタゾン（DEX）およびアプレピタント（APR）の3剤併用療法が制吐対策として推奨される。しかし、岐阜大学病院（当院）において、頭頸部癌CF療法が施行された患者の制吐率を調査した結果、抗がん剤投与5日目までの制吐状況はほぼ良好であったが、6日目以降に嘔吐を発現する患者が認められた。そこで、APRの投与期間を通常3日間投与から5日間投与に延長する対策を行った。本発表では、CF療法が施行された頭頸部患者でのAPR 5日間投与の有効性を報告する。また、近年、医薬品等の保険適応を決める判断材料として質調整生存年（quality-adjusted life years ; QALY）を用いた費用対効果の導入が検討されているが、3日間投与群と5日間投与群における費用対効果についても比較検討した。

【方法】対象は2009年1月から2014年4月の間に頭頸部癌CF療法が施行された患者とした。3日間投与群と5日間投与群における、急性期（抗がん剤投与後24時間以内）、遅発期（2-7日目）および全期間（1-7日目）における悪心と嘔吐抑制率を比較した。費用対効果解析は、両群間の薬剤費等の医療費の差をQALYの差で除した増分費用対効果比（incremental cost-effectiveness ratio ; ICER）により評価した。また、QALYの算出にはHumphreysらの報告を用いた。

【結果および考察】3日間投与群と5日間投与群では、悪心抑制率は急性期、遅発期、全期間ともに大きな差は認められなかった。一方、嘔吐抑制率は、急性期は両群ともに抑制することができたが、遅発期では、3日間投与群では嘔吐の抑制率が約60%であったのに対して、5日間投与群ではほぼ抑制することができた。また、5日間投与群では3日間投与群と比較し質調整日数（quality-adjusted life days ; QALD）が延長しており、さらに、ICERを算出したところ、英国の閾値を下まわっていたことから費用対効果は良好であったと考えられた。本結果を元に、当院では、CF療法が行われる頭頸部癌患者に対しては5日間処方を標準制吐対策とした。なお、2元感度分析の結果からは、5日間投与における悪心・嘔吐抑制率が一定値を下回ると、3日間投与群が推奨されることから、薬剤師が処方提案を行う際は、臨床効果のみならず費用対効果の観点からもその妥当性を評価していく必要があると考えられた。

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただく運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内 申
申し上げます。 謹白

記

日時：平成 26 年 10 月 4 日（土）午後 4 時 30 分から

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 Tel (058) 296—1200

■情報提供

「ボンビバ・エディロールについて」

中外製薬株式会社

■特別講演 午後 5 時 00 分から

座長 岐阜大学医学部附属病院 副薬剤部長 岡安 伸二 先生

演題 1 (20 分)

「骨粗鬆症における病診連携と多職種連携の重要性

—病院薬剤師に期待すること—

岐北厚生病院 リハビリテーション科 部長 高見秀一郎先生

演題 2 (40 分)

「骨粗鬆症の治療コンプライアンスの向上に向けて」

岐阜大学医学部附属病院 整形外科 教授 秋山治彦先生

主催 中外製薬株式会社

※ 講演会終了後、グループディスカッションを計画しております。

大切なお知らせ：当日は、長良川国際会議場地下駐車場が大変混雑します。

できるだけ公共交通機関でお越しいただくか、C南駐車場をご利用ください。

周辺駐車場



① 長良ヶ丘駐車場 無 料 8:00～21:30 ・イベント開催時間に合わせて変更あり。

② 長良川国際会議場 岐阜都ホテル 共同地下駐車場 30分 100円 24時間 ・車高制限2.1m

③ 岐阜メモリアルセンター南駐車場 普通車3時間まで100円 9:00～21:00 ・イベント開催時間に合わせて変更あり。
以降30分ごとに100円加算 バスは予約制です ・右折での入退場はできません。
バス 1回1,000円